夢工房 JYONAN
建築設計施工
株式会社 城南組

JYONAN通信

第120号
令和6年3月号

TEL:075-841-1403 FAX:075-812-0457

この『JYONAN通信』は皆さまと弊社とのご縁を大切にしていきたい　今後もなんらかお付合いが続けていただけたらと思い作らせていただきました
お時間があるときにでもお読みいただければ光栄です　かゆいところに手が届く建築屋でありたい…(株)城南組の取締役　寄本　猛です

株式会社城南組　「創業110周年」

時下ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます
平素は格別のご高配を賜り　厚くお礼申し上げます
さて、弊社はおかげさまで3月1日をもちまして「創立110周年」を迎えさせていただきました
これもひとえにお客様をはじめ関係各位の皆様のご支援　ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております
これを機に社員一同　一層の努力を行い 皆様のご愛顧にお応えしていく所存でございます
今後とも　なにとぞご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます

京都老舗の会
Kyoto Company Century Club

「京都老舗の会」令和5年度事業報告会

令和6年2月6日に開催され
今年は京都府下23社が100年企業として表彰されました。
今回建設業からは2社、繊維・染色、製造業、卸売業・小売業
宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業の各社が
100年以上にわたり堅実に家業の理念を守り、伝統の技術と商法を継承されています。

パネルディスカッションでは、熊本県で竹の箸だけを造り続けられていた稼業を
京都の大学を卒業後、IT企業へSEとして働いたのち稼業を継がれ
脱下請けを揚げてブランティングに着手され、子育て世代の女性を中心に自社製品を開発し
販路を広げられたお話を聞かせていただきました。
日本人の誰もが使う箸ですが、最近ではポテトチップスを箸で食べる人が多いようで
そのメーカーであるカルビーともコラボされ、その箸が大ヒット商品となっているようです。
昔は田舎の竹箸製造工場に近所の女性が近いからだけで働きに来ていて
どこで売られどんな方が買ってくれているか知らないまま
只々近い職場と言うだけの竹の箸を作る工場で働いていた女性たちが
今や10代～30代の女性を中心に、自分の仕事が世に評価されていることを知り
やりがいを持てるようになり、給料以外のところで満足を得られ
家族にも自慢ができる仕事していることに喜び、好調で良い雰囲気の会社となって行かれているようです。

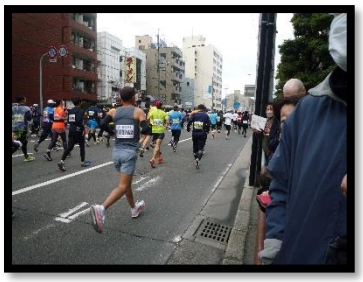
もう一社のお話は文具卸業の会社で、今やネットや通販で誰でもどこからでも購入出来る時代になり
経営不振に陥ることになるが、業種の幅も販路も広げられ経営を立て直し
社員の子育て世代の女性にフレックスタイムを取り入れたり
結婚や子育てで一旦離職された女性に復帰の場を作ったり
全く務めた経験のない人でも働ける環境づくりに取り組まれているようです。
パート職の女性に出勤時間の自由、急なことで休みたいときでも「一切連絡はいらない」など
普通の職場では考えられない取り組みされ、大胆な働き方改革をされているお話を聞かせていただきました。
どちらのお会社も働く女性の職場環境づくりに取り組み成功されています。
現状では同じことはなかなかできませんが、その会社に合った良き職場の環境づくりは
これから迎える若い人たちのためにも大切なことですね。

先日、京都の老舗佃煮屋さんの倒産のニュースを聞きました。
もうすぐ100年という「京都の老舗」の仲間入りされることだったのに
京都では100年以上続いて「京都の老舗」として表彰された会社が2,000社近くあるようですが
中には200年、300年、またそれ以上続いている企業もあり、そんな企業からすれば
100年企業は「まだまだ鼻たれ小僧」です。ときどき会社を立ち上げた方のお話で
「自分で立ち上げた会社やし」「自分で閉めても良いと思っている」「息子に継いでもらうと思ってない」と
言われる方がおられますが、現在弊社の社長は六代目、創業家からでなく社員からの社長が三代目です。
「まだ110年でしょ」と行くところでは言われそうですが、どのお会社もそうですが守りだけではなく攻め続けて
常に新規のお客様づくりにも精力を注ぎやめるわけにはいかない。継続し続ける事も正直大変です。

社員一同力合わせて頑張ります！

京から明日へ「京都マラソン2024」令和6年2月18日（日）開催

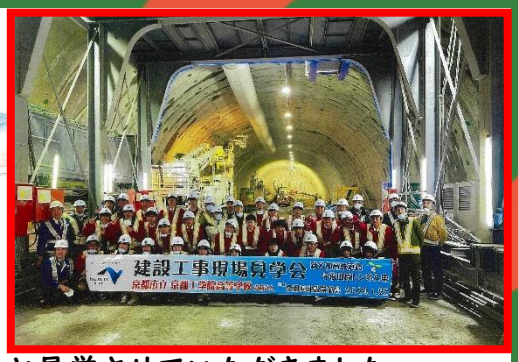
弊社社員　北川忠幸が昨年につづき今年も出場し完走いたしました。
おめでとう！来年も走ってくださいね、社員一同応援しています！



KYOTO MARATHON 2024

現場見学会　京都市立京都工学院高等学校生徒現場見学

実施日：令和6年1月某日
見学場所：新名神高速道路　京都府域工事
宇治田原トンネル工事現場



京都府建設業協会京都支部労務経営委員会の恒例の行事で
上記工事現場にﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ工学科 都市デザイン領域（土木系）の
1年生35名と行ってまいりました。
普段工事中は入れないトンネル工事の最先端まで高校生の皆さんと見学させていただきました。
日頃は建築の仕事をしているので現場の構え方も違いますが土木工事のスケールに圧倒されます。
今回の生徒さんはまだ1年生と言うことで専門的な事はまだまだ勉強されていませんが
それぞれこの体験で感じられたことがあります。その一例を記載いたします。

- 土木の工事に就きたいので見学でき良かった。 爆薬を使った工法も見たかった。
- ﾄﾝﾈﾙ内はもっと埃っぽいｲﾒｰｼﾞだったが、実際は空気がきれいだった。（十分な換気設備が設置された環境でした）
- 1日1mしか進まないらしいので日数がかかる工事だと思った。
  甚大なコストと作業員の努力があって作り上がると知った。
- 専門知識の必要性を感じたので、資格を取る為にも授業を意欲的に受けようと思った。
- 自然と向き合いながら、効率よく作業を進める工夫がすごい。
- 建設業は高齢化・若手不足の中、豊かな発想力が必要。若者が盛り上げる必要がある。
- 将来の進路の選択肢が増えた。かっこいい仕事だと感じた。
- 完成した時の達成感、やりがいを感じられる、人の役に立つ仕事だと思った。

ほんの一例ですが、初めて見るトンネルの工事現場に皆さん刺激を受けられ
こんな仕事いやだなぁ～と思われる生徒さんはいませんでした。
せっかく専門分野の学習ができる学校に入っていただいたので是非将来建設業の仕事につき
京都のまちづくりに携わっていただきたいです。

最後まで読んでいただきありがとうございます。不定期ではありますがこの『JYONAN通信』で
弊社の取り組み・出来事・イベントなどのお知らせの発行が出来ればと思っております。
※この通信紙及びチラシの送付でご迷惑をおかけしていましたら恐れ入りますがご連絡いただければ 送付を取りやめさせていただきます。

～安心・安全・健康で快適な住まいつくりのお手伝い～

おかげさまで創業110周年

〒604-8803　京都市中京区蛸薬師通大宮西入上ル因幡町97

株式会社　城　南　組

TEL:075-841-1403　FAX:075-812-0457
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.jonangumi.co.jp　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：info@jonangumi.co.jp

建設業許可　京都府知事　（特-2）第1490号